

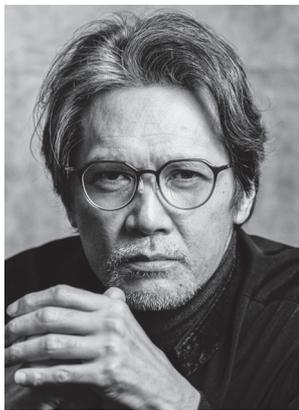
奈良まほろば館

発行所／奈良まほろば館 〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル 1階・2階

nara mahoroba

2022年(令和4年) 3月

ショップ情報



奈良県出身の俳優、加藤雅也さんの写真展を3月18日(金)から3月31日(木)にかけて開催します。四寺巡礼(長谷寺・室生寺・岡寺・安倍文殊院)の第一弾として今回は冬に長谷寺で撮りおろした写真が並びます。

また展示しています写真は販売もしていますので、この機会にぜひお立ち寄りください。

3月25日にはご本人もご来店予定です!

レストラン情報

TOKI3月のメニューは、奈良で春の果物の代名詞的存在であるイチゴ「古都華」を使った料理や橿原市産のアスパラガスなど奈良の春を感じる素材が詰まったコースをご用意しています。

コースの食後のお飲み物にあわせる人気の小菓子「奈良サンド」には、吉野桜の塩漬けを使用。ぜひ奈良県産の紅茶「やまとみどり」や優しい香りのほうじ茶「月香」とご一緒に楽しんでください。



まほろばチャレンジリーグ結果発表!

奈良県内の事業者が首都圏での商品販売や販路拡大などにチャレンジする「まほろばチャレンジリーグ」を12月・1月に実施した結果、売れ行き好調のため継続販売している商品をご紹介します。

12月は「ならまち庚申さん なないろこはくとう(ならまち招福庵)」と「くずゆ((株)吉田屋)。「ならまち庚申さん なないろこはくとう」は、自家製米糀甘酒を使った、大和抹茶など7種類の味を楽しめる琥珀糖です。「くずゆ」は、奈良県産の材料にこだわり、素材の風味を活かして作られています。

1月は「正倉院宝物柄のペンダント(満福)」と「農家のたっぷり野菜カレー(有限会社 山口農園)」。「正倉院宝物柄のペンダント」は、奈良の地場産業である貝ボタンの原材料「マザーオブパール」に繊細な彫刻を施した虹色の光沢が美しいペンダントです。「農家のたっぷり野菜カレー」は、山口農園が生産する有機栽培の大和野菜「大和まな」を使用したこだわりのレトルトカレーです。

人気商品を是非チェックしてください。



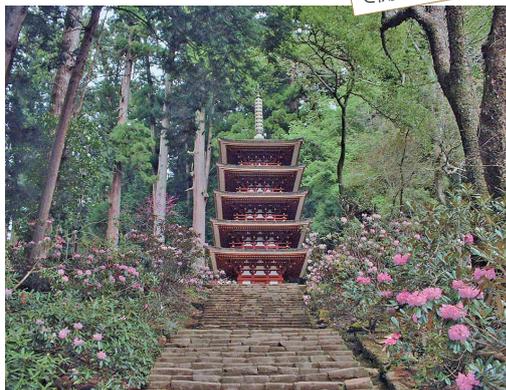
女人高野 室生寺とゆかりの寺院

展示 3月9日(水)～3月16日(水)

物販 3月9日(水)～3月16日(水)

展示は2階イベントルームAで開催!

「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒やしの聖地～」をストーリーとして、室生寺をはじめとする「女人高野」ゆかりの地が令和2年度に日本遺産に認



定されました。宇陀市内では室生寺、大野寺、安産寺、佛隆寺が日本遺産に認定されており、パネル展示を通じて「女人高野」をご紹介します。

また、期間中には、宇陀市の特産品も販売しています。

※2階イベントルームAでの展示につきましては、同ルームで講演等の他のイベントを実施している時間帯はご覧になれない場合があります。ご了承ください。

物販イベント

期間限定!奈良のいちおし逸品販売会～古都奈良から春をお届け～ 3月19日(土)～3月21日(月・祝)

古都奈良から春をお届けします。「奈良といえば鹿」だけではありません。もう「奈良にうまいものなし」とは言わせません。3日間限定で、奈良で作られたいちおしの逸品を集めました。春をテーマに質の高い食品や雑貨を取り揃えています。お手にとって古都奈良の春を感じてみませんか?



イベントに関するお問い合わせは、

奈良まほろば館まで ☎03・5568・7081

※イベントの詳細は、奈良まほろば館のホームページで随時案内いたします。
※新型コロナウイルス感染症に伴い、内容が変更・中止になることがあります。
※各展示の最終日は閉館時間前に終了することがあります。ご了承ください。

裏面も
ご覧ください

2022年3月の講演紹介

月日(曜)	時間	講演名	講演内容	講師	定員(名)	参加費(円)	問い合わせ先
3月13日(日)	13:30~15:00	Myしょうゆつくりセミナー	醤油業界の全国と奈良県の状況、「古代ひしお」から見える発酵の歴史と醤油が作られるまでの工程を説明いたします。また、My醤油造りを通して醤油麹の実物に触れ、ご自宅で諸味発酵管理を体験していただくことで、醤油醸造の魅力をご紹介します。 ※本職の醤油屋のサポートとレクチャーでどなたでも醤油造りができます。 ※麹造りなど作業が難しい部分は事前に準備いたします。醤油の発酵熟成をご自宅で見守ってください。 申込期日:2月28日(月)	奈良県醤油工業協同組合	30	3,000	奈良まほろば館
3月14日(月)	19:00~21:00	お写経教室	奈良の法相宗大本山薬師寺から僧侶をお招きしお写経を行います。この教室ではお写経を行うだけでなく、僧侶による法話もごさいます。完成したお写経は、薬師寺の納経蔵に納められ永代供養されます。 ※お写経は般若心経又は父母恩重経、写仏をお選びいただけます。	薬師寺 録事 村上 定連 師	18	3,000	
3月19日(土)	14:00~15:30	南都法話会	南都七大寺等、奈良県内の有名寺院の僧侶により、奈良ゆかりの興味ある話の講演会の「南都法話会」の第6回目になります。 申込期日:3月2日(水)17時	興福寺 大森 俊員 師	50(抽選)	無料	
3月20日(日)	11:00~12:30 14:00~15:30	『逆説の日本史』をたどる	井沢元彦著「逆説の日本史」シリーズ(小学館刊)は、累計販売部数が572万部を突破しました。また「言霊(ことだま)」「怨霊(おんりょう)」「死機(しえい)」などのキーワードを軸に、多数の著作を執筆されています。毀誉褒貶(きよぼうへん)が相半ばするなか、最近では本郷和人氏(東京大学史料編纂所教授)との共著作も刊行されています。この講座では、奈良の古代史に登場する人物を取り上げ、ヨソでは聞けない「井沢仮説」を紹介します。	奈良まほろばソムリエの会 専務理事 鉄田 憲男 氏	各部50	500	
3月25日(金)	11:00~12:30 14:00~15:30	『乙巳の変(大化改新)』の謎~誰が蘇我入鹿を殺したか?~	大化改新は「日本書紀」には中大兄皇子と中臣鎌足が天皇家に対して専横を振るう蘇我氏を倒し中央集権的な国家を建設したことになっています。学校でもそのように習いましたが「日本書紀」は天武天皇が舎人親王に命じて編纂させた歴史書です。天武天皇や権力者の藤原不比等などに都合の良い虚飾があるはず。最近の学説などを参考にして「日本書紀」の矛盾や隠された大化改新の真実と蘇我入鹿を殺害した首謀者を考えてみます。	奈良まほろばソムリエの会 会員 藤永 泰雄 氏	各部50	500	
3月27日(日)	14:00~15:30	金峯山寺の365日~千年以上受け継がれてきた修験道の祈り~	先人達が歴史の中で積み重ねてきた日々の修行と祈りの風景を、一冊の「金峯山寺の365日」という書籍にまとめ、執筆した講師が、自らの実践経験をもとに金峯山修験道の修行や祈りについて語ります。加えて、講師を育ててくれた修験道の根本道場たる吉野大峯、そして金峯山寺やご本尊金剛蔵王大権現、ご開祖役行者神変大菩薩などについての篤い思いを披瀝します。	金峯山修験本宗 宗務総長 総本山金峯山寺 執行長 五條 永教 師	50	無料	

奈良まほろば館より講演を受講される方へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から右記のことについてお願いします。

1. 受付・開場は開始30分前から行います。受付前の講座室周辺での待機等はお控え下さい。
2. 受講の際には、咳エチケットを守り、手洗い・指の消毒、マスクの着用をお願いいたします。
3. 健康状態に不安のある方(発熱、咳、鼻汁、味覚・嗅覚障害等の症状に該当される方)は来館を控えて下さい。
4. 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への渡航歴がある方は来館を控えて下さい。
5. 感染拡大防止のため、講師のマスク着用や職員による道具の消毒、講座室の換気等を行います。

申込み方法

- ホームページ 奈良まほろば館のホームページ(URL:<https://nara-mahoroba.pref.nara.lg.jp>)にアクセスいただき、「講座案内」の「申込フォーム」からお申込ください。
※受講券等の発行はいたしません。定員に達し、お断りする場合のみご連絡いたします。 ※申込後にキャンセルされる場合は事前にお知らせください。

奈良まほろば館

〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル1階・2階

1F Shop/Cafe&Bar TEL:03-6263-9656 【OPEN】11:00~20:00

2F TOKI(Restaurant&Bar) TEL:03-6228-5665

【OPEN】●Restaurant/火曜~土曜12:00~15:30(L.O.13:00)、18:00~22:00(L.O.19:30)、日曜12:00~15:30(L.O.13:30)

●Bar/火曜~土曜12:00~15:00(L.O.13:30)、17:30~22:30

(L.O.food21:00、drink22:00)、日曜12:00~18:00(L.O.food17:00、drink17:30)

【CLOSED】月曜日/第2・第4日曜日

イベント・観光案内(奈良県事務所) TEL:03-5568-7081 【OPEN】11:00~19:00



奈良まほろば館

■アクセス方法

- JR新橋駅銀座口より徒歩約3分
- 東京メトロ銀座線新橋駅1番出口より徒歩約3分



奈良まほろば館
ホームページ用
QRコード

